(2) 自然条件

①地勢

大阪港は、淀川三角州上に発達した大阪市の先端にあって、背後に広大な大阪平野をひかえ、前面は大阪湾に面している。

大阪港には、淀川をはじめとして、その分流である神崎川、安治川、尻無川、木津川などの市内河川が流入しているが、これらの河川は比較的流速が小さく、流砂も少ないため、これらを接続する運河とともに大阪港の港湾機能の一部を形成し、古くから利用されている。

また、大阪湾の平均水深は約27mで、傾向としては北東隅側(大阪・堺)で浅く、南西に向かうにつれて次第に深くなっている。

②地質

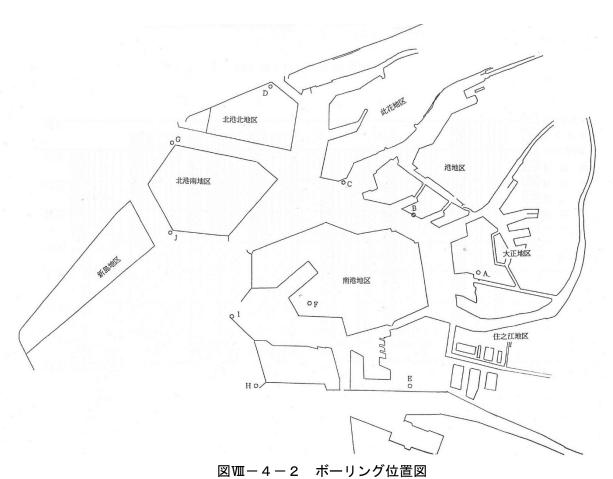
大阪平野は、かつては大阪湾の一部であったが、海面の低下とともに出現した沖積平野である。従って、その大阪平野の一部を占める大阪市の地質は大部分が極めて新しいいわゆる沖積層に属しているが、東部及び南部に連なる上町丘陵は和泉山麓の台地の北縁が市内に延びて台地をなしているものであり、その大部分は大阪層群と呼ばれる鉱石層である。

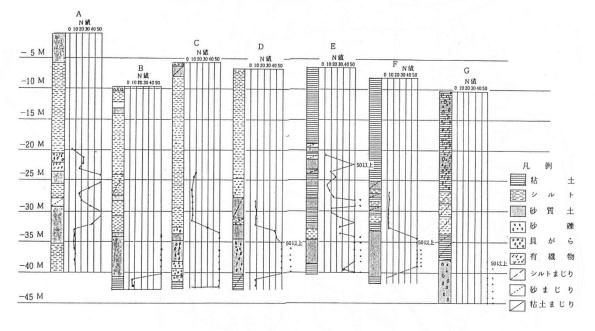
西部沿岸地帯は、特に河川の沖積作用と人力による干拓、埋立の地域であって、軟弱な 青灰色粘土層上に薄い細砂層が見られる。

大阪港の南に注ぐ大和川、北に注ぐ淀川の影響により、その河口付近は約5mの厚さの砂質土で覆われているが、正蓮寺川付近より尻無川にかけての大阪港の大部分は沈泥に覆われ、その下に約15mの厚さの貝殻混り粘土層がある。更にその下には砂と粘土の交互層があり、梅町より北側は $D.L.-30m\sim-35m$ 付近より洪積層に属する砂礫層が現れ、大阪港中心部はD.L.-35m以下より同じく砂礫層が現れるが、この砂礫層は堺に近づくにつれて浅くなり、D.L.-20m付近に現れている。D.L.-40m以下には再び粘土層がかなりの厚さをもって続いている。

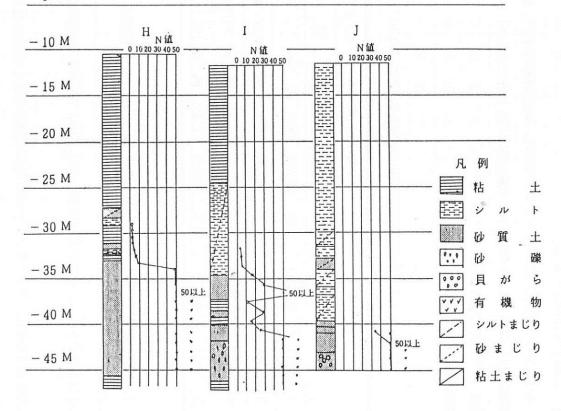
南港は、堺寄りで、洪積層の出現深度が浅く、 $D.L.-20m\sim-23m$ 付近に現れており、 大阪港の中では最も良好な築造条件を有している。

なお土質調査による大阪港の状況は、次のとおりである。





図Ⅷ-4-3 柱状断面図(1)



図四-4-4 柱状断面図(2)

③気象

1) 気温

過去5年間(平成25年~平成29年)の年平均気温は17.1℃である。

また、明治 16 年 1 月の統計開始日から平成 30 年 6 月までの最高気温は、平成 6 年 8 月 8 日の 39.1 \mathbb{C} 、最低気温は昭和 20 年 1 月 28 日の -7.5 \mathbb{C} である。

表価ー4-5 過去5年間の月別気温

(観測地点:大阪管区気象台)

	月次		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
気	平均	6.0	6.4	10.2	15. 5	20.7	23.4	28. 0	29.0	24.5	19.6	13.7	8. 2	17. 1
温	日最高の平均	9. 7	10.3	14. 7	20.1	25. 9	27.9	32. 3	33. 7	28.9	23.8	17.6	11.7	21.4
(℃)	日最低の平均	2.7	3. 1	6. 1	11. 1	16. 2	19.9	24. 9	25. 7	21.1	16. 2	10.2	5. 0	13.5

(気象庁 HP より)

2) 降水量

過去5年間(平成25年~平成29年)の年平均降水量は1,415mmである。約60%は梅雨、台風時期の6月から10月に集中している。

また、明治 16 年 1 月の統計開始日から平成 30 年 6 月までの最大日降水量は、昭和 32 年 6 月 26 日の 250.7mm である。

表価-4-6 過去5年間の月別降水量

(観測地点:大阪管区気象台)

月次	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
降水日数 (日:1mm以上)	5. 6	5. 6	7.0	10.0	7.6	11.2	7.6	8.8	10.4	11.6	8.6	5.0	99.0
降水量 (mm)	56. 7	59.8	111.4	101.8	92.3	205.8	119.7	184. 1	165. 4	169.0	78. 7	70. 1	1414.8

(気象庁 HP より)

3) 風況

過去5年間(平成25年~平成29年)の年平均風速は2.4m/sec である。なお、昭和36年9月16日の第2室戸台風では、SSEで50.6m/sec、平成30年9月4日の台風21号では、SSWで47.4m/secの最大瞬間風速が記録されている。

また、大阪港付近における風向・風速は、平成 26 年 3 月までは大阪市港湾局旧庁舎屋上にて、平成 26 年 4 月からは、国際船客上屋において観測されており、その観測結果は、表 $\mathbf{w} - \mathbf{4} - \mathbf{7}$ 及び図 $\mathbf{w} - \mathbf{4} - \mathbf{5}$ に示すとおりである。(平成 25 年~平成 29 年)年間を通じて NNE、W、WSW の風がそれぞれ 13.1%、12.9%、12.5% と卓越している。

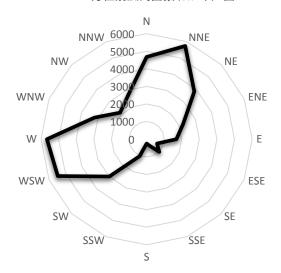
表価-4-7 大阪港における風向別月別回数

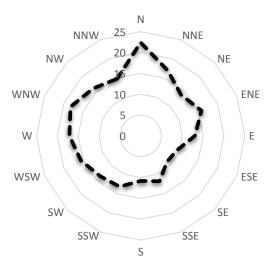
(単位:回)

月	N	NNE	NE	ENE	Е	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	欠測	合計
1月	427	427	261	154	65	57	87	27	28	84	199	378	593	387	248	278	20	3720
2月	508	435	204	137	86	73	64	20	21	62	169	255	407	266	251	416	10	3384
3月	510	530	321	126	125	52	73	40	50	126	236	312	364	212	263	370	10	3720
4月	359	434	360	218	191	46	81	44	22	122	292	500	412	193	156	168	2	3600
5月	319	365	222	155	107	33	78	39	11	102	332	686	627	253	185	203	3	3720
6月	266	437	285	244	161	30	51	27	11	103	293	692	467	234	155	141	3	3600
7月	114	202	128	87	106	25	61	22	28	181	507	925	705	404	151	70	4	3720
8月	321	384	202	141	139	38	84	35	28	124	468	734	520	243	126	131	2	3720
9月	591	728	414	216	188	58	89	33	7	53	169	315	280	110	109	237	3	3600
10月	552	827	602	301	190	58	106	29	8	41	106	145	206	117	147	284	1	3720
11月	393	582	496	304	209	95	132	31	10	19	99	234	460	185	127	219	5	3600
12月	318	388	343	171	125	78	112	40	19	26	129	291	624	608	217	201	30	3720
計	4678	5739	3838	2254	1692	643	1018	387	243	1043	2999	5467	5665	3212	2135	2718	93	43824
摘要	平成25年	手~平成	29年1時	持間内平:	均最大原	虱 観測	場所: ³	平成26年	3月迄	港湾局	旧庁舎、	平成26	年4月か	ら国際	祭船客上	:屋		

━━方位別風向回数(5か年):回

- - 方位別平均最大風速(5か年):m/s





図Ш-4-5 大阪港風配図

4台風

大阪港は、大阪湾の湾奥部に位置している。大阪港近辺に来襲した主な台風は次に示すとおりである。

表価-4-8 大阪港近辺に来襲した主な台風

年月日		原因	最高	潮位	最大偏差	最低気圧	最大風速	風向
十八日			(m)	(cm)	(hPa)	(m/s)	/4V[P]
昭和 9年 9月21日	室	至戶台風	0P+	4. 98	292	954.5	40以上	S
昭和25年 9月 3日	5028	(ジェーン)		3.85	237	970.3	28. 1	S
昭和25年 9月14日	5029	(キジア)		2.55	42	1003.6	10.7	S
昭和26年 10月15日	5115	(ルース)		2.95	88	980.8	15. 7	WSW
昭和28年 6月 7日	5302			2.55	76	995.6	20.8	SW
昭和29年 8月18日	5405			2.49	56	980.5	11.3	ESE
昭和29年 9月26日	5415	(洞爺丸)		2.84	92	988.3	29.8	SSW
昭和30年 9月30日	5522			2.38	51	1000.2	18.0	SSW
昭和31年 8月17日	5609			2.63	58	991.4	22.6	SW
昭和31年 9月10日	5612			2. 26	42	1022.5	15. 2	SSW
昭和32年 6月27日	5705			2.56	67	998.5	18.0	SW
昭和32年 9月 7日	5710			2.53	67	997. 1	16. 5	SW
昭和33年 8月25日	5817			2.42	65	985.1	20. 1	ENE
昭和34年 9月17日	5914	***************************************		2.53	41	1000.4	14.4	SW
昭和34年 9月26日	5915	(伊勢湾)		2.52	72	956.4	29.8	NE
昭和35年 8月29日	6016	***************************************		2.88	95	992.4	17.7	SW
昭和36年 9月16日	6118	(第2室戸)		4. 12	222	937.3	30. 4	WSW
昭和39年 9月25日	6420			3.72	187	987.4	19. 0	SSW
昭和40年 8月 6日	6515			2.21	53	996. 1	10.5	S
昭和40年 9月10日	6523			3. 19	182	976. 2	17. 3	S
昭和41年 8月23日	6615			2. 23	45	1000.0	6.8	NE
昭和41年 9月10日	6619			2.36	40	1000.8	6. 2	WSW
昭和43年 7月29日	6804	***************************************		2.61	59	991.6	8. 3	ESE
昭和43年 8月29日	6810	000000000000000000000000000000000000000		2.30	66	1009.6	17.0	SW
昭和47年 9月16日	7220			2.91	92	971.5	23. 2	NE
昭和49年 9月 1日	7416	***************************************		2.50	50	994.1	12.3	Е
昭和50年 8月23日	7506			3. 26	112	977.0	18. 9	SW
昭和54年 9月30日	7916			2.80	107	972.2	17. 6	WNW
昭和55年 9月11日	8013			2.71	74	991.4	13. 3	S
昭和57年 8月27日	8213			2.31	56	994. 5	9.3	SE
昭和58年 9月28日	8310			2. 28	59	993.5	7.8	NE
昭和60年 7月 1日	8506			2. 27	46	986.4	10.6	NNE
昭和62年 8月31日	8712			2.05	46	1002.8	12. 1	SW
昭和62年 10月17日	8719			2.50	105	982. 2	15. 7	ENE

年月日	臣田	最高潮位	最大偏差	最低気圧	最大風速	国占
平月日	原因	(m)	(cm)	(hPa)	(m/s)	風向
平成元年 8月27日	8917	2.06	60	980.0	13. 1	ENE
平成 3年 9月14日	9117	2. 20	44	1002.6	12.6	SSW
平成 3年 9月28日	9119	2.48	112	991.7	17. 2	SSW
平成 4年 8月 8日	9210	2. 49	49	998.4	15. 1	SW
平成 5年 8月10日	9307	2. 17	48	997.5	11.6	ENE
平成 5年 9月 4日	9313	2.65	106	989.4	19.4	SSW
平成 6年 9月29日	9426	2. 28	62	976.8	15.5	WSW
平成 8年 8月14日	9612	2.88	106	990.5	19. 1	SSW
平成 9年 6月28日	9708	1. 98	59	983.4	14.4	SSW
平成 9年 7月26日	9709	2.51	88	984.4	19. 2	ENE
平成10年 9月22日	9807	2. 24	95	977.3	24.8	W
平成10年 10月18日	9810	2.86	138	983.3	21.1	SSW
平成11年 9月24日	9918	2. 43	74	999.3	10.8	SSW
平成14年 10月 1日	0221	1.81	24	997.3	5. 6	WSW
平成15年 8月 9日	0310	2.65	99	973.5	11.7	SSW
平成15年 9月13日	0314	1. 99	23	1007.5	8.8	SW
平成16年 6月21日	0406	2.50	151	979.0	12. 1	SSW
平成16年 7月31日	0410 • 0411	2.81	58	1002.2	12. 2	NE
平成16年 8月30日	0416	3. 10	115	988.1	11.4	SSW
平成16年 9月 7日	0418	3.02	104	992.8	12.5	SSE
平成16年 9月29日	0421	3. 18	103	994.0	7. 3	NE
平成16年 10月20日	0423	3. 10	113	976.0	10.2	SSE
平成23年 7月19日	1106	1. 25	65	982.8	8. 2	NE
平成23年 9月2日	1112	1.31	75	989.8	10.4	NE
平成23年 9月21日	1115	1.08	54	984.6	7.0	NW
平成24年 6月19日	1204	1.31	123	979.7	9.3	NE
平成26年 8月10日	1411	1.31	123	983. 7	10.9	SW
平成26年 10月13日	1419	1.23	63	985.7	9. 2	NE
平成27年 7月16日	1511	1, 26	65	992.9	9.4	ENE
平成29年 9月17日	1718	1. 30	95	980. 9	10.3	SSW
平成30年 9月4日	1821	3. 29	277	962.4	27. 3	SSW
平成30年 9月30日	1824	1. 31	78	971.3	9. 6	NNE

⑤波浪

大阪港における波浪記録は、次に示すとおりである。

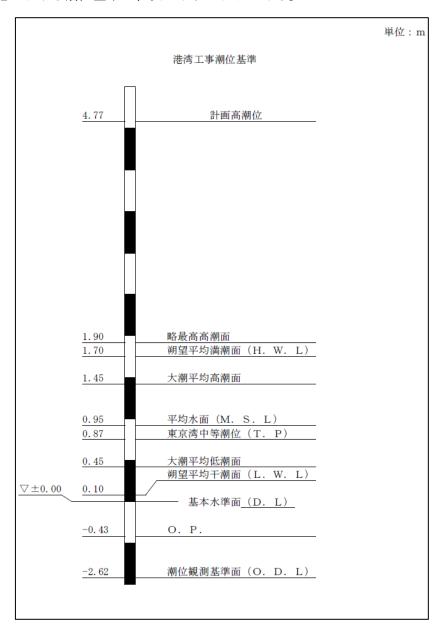
表胍-4-9 波浪資料

年	月日	波高(m)	波向		摘要
昭和 9年	9月21日	約 3.30	S	室戸台風	大阪市港湾局推定防波堤外
昭和25年	9月 3日	3. 00	S	ジェーン台風	11
昭和26年	10月15日	2.10	SW	ルース台風	大阪市港湾局推定関門付近
昭和29年	9月26日	1.70	WSW	洞爺丸台風	11
昭和35年	8月29日	1. 37	SW	6016号台風	11
昭和36年	9月16日	2.00	_	第2室戸台風	直結式波高計による中央突堤北
昭和39年	9月25日	2. 50	SW	6420号台風	大阪市港湾局推定関門付近
昭和40年	9月10日	1. 20	SW	6523号台風	大阪市港湾局推定中央突堤前面
昭和43年	8月29日	2. 21	SW	6810号台風	大阪市港湾局推定関門付近
昭和45年	8月21日	2.00	SW	7010号台風	IJ
昭和50年	8月23日	2.86	SW	7506号台風	II
昭和54年	9月30日	2.70	W	7916号台風	II.
昭和57年	8月27日	1.60	S	8213号台風	大和川南防波堤先波浪観測所
昭和58年	9月28日	1.41	SSW	8310号台風	II.
昭和60年	7月 1日	0.75	W	8506号台風	"
昭和62年	8月31日	1.60	SSW	8712号台風	IJ
昭和62年	10月17日	2.96	SSW	8719号台風	11
平成 5年	9月 4日	3. 65	SSW	9313号台風	南港南埠頭沖波浪観測所
平成 8年	8月14日	3. 39	SSW	9612号台風	11
平成10年	10月18日	3. 93	SW	9810号台風	11
平成11年	9月24日	3.04	SSW	9918号台風	11
平成15年	8月 9日	2.48	WSW	0310号台風	11
平成16年	6月21日	3. 07	SSW	0406号台風	11
平成16年	8月30日	3. 46	S	0416号台風	11
平成17年	2月1日	2. 16	W		II .
平成17年	9月7日	2.31	SW	0514号台風	"
平成17年	10月23日	2. 24	NW		11
平成17年	12月5日	2. 19	W		11
平成17年	12月22日	2.44	WNW	***************************************	11
平成18年	11月7日	2.35	W		11
平成19年	1月7日	2. 53	WNW	***************************************	II.
平成19年	8月3日	2. 29	SW	0705号台風	11
平成19年	12月31日	2. 26	WNW		11
平成21年	2月14日	2. 12	SW		II .
平成22年	4月2日	2.09	SW		11
平成22年	12月3日	2.91	WNW		II
平成22年	12月31日	2.34	W		II.
平成23年	10月15日	2. 22	SW		11
平成24年	4月3日	2.85	W		11
平成25年	4月7日	2. 22	W		II .

[※] 昭和54年までは、風記録を基とした推定値である。

⑥潮位

大阪港における潮位基準は、次に示すとおりである。



図Ⅷ-4-6 潮位図

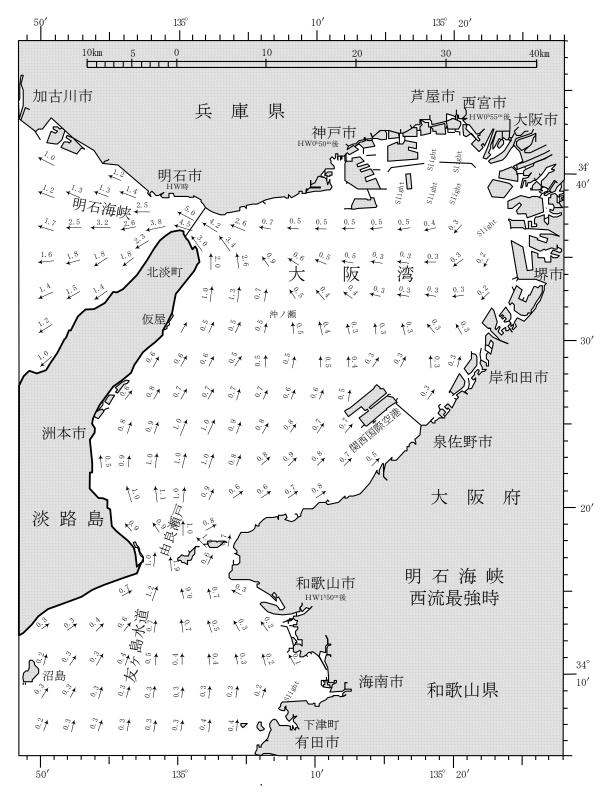
⑦潮流

大阪湾の潮流は明石海峡、紀淡海峡で強い。また、明石海峡では潮汐の日潮不等が著し く一日一回潮がよく見られるが、潮流については一日二回潮である。

大阪湾の海況特性として、

- ・ 大阪湾全体の潮流は全般にあまり強くない。
- ・ 友ヶ島から明石海峡東口に至る一線付近では、明石海峡の西流時にはほぼ北東に流れ、東流時にはほぼ南西側に流れ、流速は1/ット程度である。
- 神戸港から南へ引いた線の東側では、流速は弱く、流向は日によって変わる。
- ・ 沖ノ瀬東方及び東方 1~3 マイル付近では、南方向への流れがあり、明石海峡西流時には沖ノ瀬付近に還流が生じる
- ・ 明石海峡の西流初期から東流初期にかけて、湾中央部 20m 等深線付近に潮目ができる。

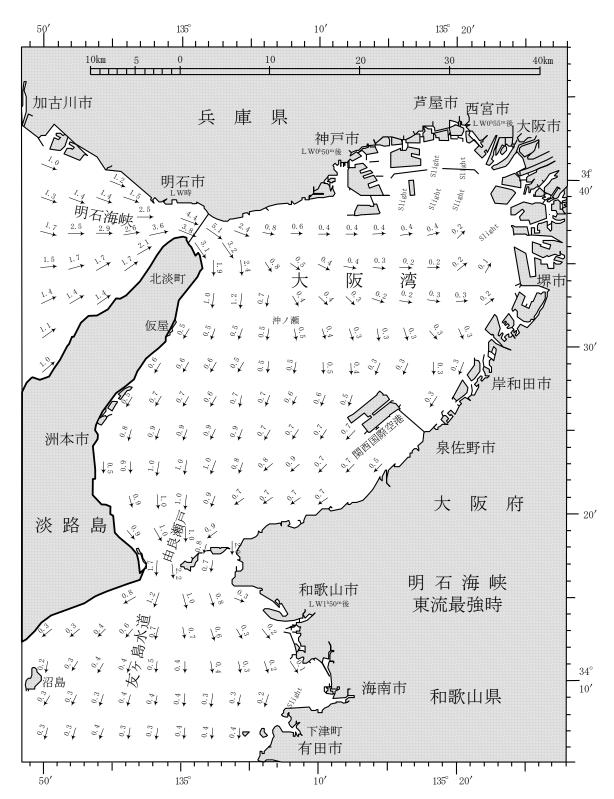
大阪湾における明石海峡の西流最強時及び東流最強時の潮流図を図x-x-x、xに示す。



注)図面に示されている矢印は流向、数値は流速(単位: ノット)であり、1 ノットは 51.4 cm/s である。

「海上保安庁第6231号大阪湾及び播磨灘潮流図(平成17年3月刊行)より作成」

図Ⅷ-4-7 潮流図(西流最強時)



注)図面に示されている矢印は流向、数値は流速(単位: ノット)であり、1 ノットは 51.4 cm/s である。

「海上保安庁第6231号大阪湾及び播磨灘潮流図(平成17年3月刊行)より作成」

図Ⅷ-4-8 潮流図 (東流最強時)

⑧地震

大阪市で震度4以上を観測した地震の位置と概要は次に示すとおりである。

表価-4-9 大阪市で震度4以上を観測した地震

地震等	発生			震	雷山地名 (地雷名)	より 公告	東経	深さ	規模
年	月	日	時 分	度	震 央 地 名 (地 震 名)	北 緯	東経	km	M
明治24(1891)	10	28	6:38	4	岐阜県南西部 (濃尾地震)	35度36分	136度36分	10	8
明治25(1892)	1	3	16:21	4	岐阜県南東部 (濃尾地震余震)	35度18分	137度06分	10	5.5
明治27(1894)	1	10	18:45	4	岐阜県南西部(濃尾地震余震)	35度24分	136度42分	10	6.3
明治32(1899)	3	7	9:55	4	三重県南部	34度06分	136度06分	60	7
明治42(1909)	8	14	15:31	4	滋賀県北東部(姉川地震)	35度24分	136度18分	10	6.8
大正 5(1916)	11	26	14:08	4	淡路島	34度36分	135度00分	10	6.1
大正12(1923)	9	1	11:58	4	神奈川県西部	35度20分	139度08分	23	7.9
昭和 2(1927)	3	7	18:27	4	京都府北部 (北丹後地震)	35度38分	134度56分	18	7.3
昭和11(1936)	2	21	10:07	5	奈良県 (河内大和地震)	34度31分	135度42分	18	6.4
昭和18(1943)	9	10	17:36	4	鳥取県東部(鳥取地震)	35度28分	134度11分	0	7.2
昭和19(1944)	12	7	13:35	4	三重県南東沖(東南海地震)	33度34分	136度11分	40	7.9
昭和21(1946)	12	21	4:19	4	和歌山県南方沖(南海地震)	32度56分	135度51分	24	8
昭和23(1948)	6	15	20:44	4	紀伊水道(日高川地震)	33度43分	135度17分	0	6.7
昭和27(1952)	7	18	1:09	4	奈良県 (吉野地震)	34度27分	135度46分	61	6.7
昭和38(1963)	3	27	6:34	4	若狭湾(越前岬沖地震)	35度49分	135度48分	14	6.9
昭和44(1969)	9	9	14:15	4	岐阜県美濃中西部	35度47分	137度04分	3	6.6
昭和60(1985)	1	6	0:45	4	和歌山県北部	34度11.0分	135度32.9分	70	5.8
平成 7(1995)	1	17	5:46	4	大阪湾(兵庫県南部地震)	34度35.9分	135度02.1分	16	7.3
平成 7(1995)	1	25	23:15	4	兵庫県南東部	34度47.5分	135度18.2分	15	5.1
平成12(2000)	10	6	13:30	4	鳥取県西部(鳥取県西部地震)	35度16.4分	133度20.9分	9	7.3
平成16(2004)	9	5	19:07	4	三重県南東沖	33度01.9分	136度47.8分	38	7.1
平成16(2004)	9	5	23:57	4	三重県南東沖	33度08.2分	137度08.4分	44	7.4
平成25(2013)	4	13	5:33	4	淡路島付近	34度25.1分	134度49.7分	15	6.3
平成30(2018)	6	18	7:58	6	大阪府北部	34度50.6分	135度37.3分	13	6.1

(平成 25 年まで: 大阪市 HP より、平成 30 年: 気象庁 HP より)

5 港湾の沿革

表Ⅷ-5-1 港湾の沿革

É	丰号	西暦	記事
慶応	4 年	1868 年	大阪開港
明治	27 年	1894 年	オランダ人技師デ・レーケが築港計画完成
	30 年	1897 年	天保山で築港起工式(第1次修築工事)挙行
	36 年	1903 年	築港大桟橋完成
大正	11 年	1922 年	天保山桟橋完成
昭和	4 年	1929 年	臨海鉄道開通、木津川口に「大阪飛行場」開港
	9 年	1934 年	室戸台風来襲、港湾施設に甚大な被害
	10 年	1935 年	大阪港復興修築工事起工
	19 年	1944 年	中央突堤完成 東南海地震、港湾施設に甚大な被害
	20 年	1945 年	港湾全機能が空襲被害によりマヒ状態となる
	23 年	1948 年	港内航行安全宣言 民間貿易再開
	25 年	1950 年	港湾法公布 ジェーン台風来襲、港湾施設に甚大な被害 高潮対策事業開始
	26 年	1951 年	重要港湾の指定(1月) 特定重要港湾の指定(9月)
	27 年	1952 年	港湾法により大阪市が大阪港の港湾管理者となる
	33 年	1958 年	南港開発造成事業起工
	34 年	1959 年	大阪市内防潮堤完成
	40 年	1965 年	安治川突堤北岸壁(弁天埠頭)での客船扱い開始
	42 年	1967 年	沖縄航路開設 大阪港開港100年 阪神外貿埠頭公団設立 大阪/サンフランシスコ姉妹港提携
	44 年	1969 年	中央突堤北岸壁供用開始 大阪港コンテナ埠頭第1号岸壁供用開始 南港大橋完成 天保山岸壁供用開始
	45 年	1970 年	港大橋起工
	46 年	1971 年	大阪南港フェリー埠頭第1船就航

年号	西曆	記事
昭和 47 4	年 1972 年	大阪フェリー埠頭公社設立 北港処分地造成事業起工
48 4	年 1973 年	北米太平洋航路開設 大阪南港フェリー埠頭の旅客ターミナルビル供用開始
49 4	年 1974 年	港大橋開通 大阪/メルボルン姉妹港提携
50 4	年 1975 年	シンガポール定期航路開設
51 4	年 1976 年	平林大橋、柴谷橋供用開始 大阪港ライナー埠頭一部供用開始 食品埠頭J岸壁一部供用開始 かもめ大橋開通
52 4	年 1977 年	大阪南港環境整備公社設立 「南港ポートタウンまちびらき」開催
53 4	年 1978 年	フェリーかもめ埠頭一部供用開始 R岸壁一部供用開始 防潮扉集中監視装置運用開始
54 4	年 1979 年	化学品埠頭供用開始 大阪南港魚つり園オープン 大阪南港海水遊泳場オープン
55 4	年 1980 年	大阪/ル・アーブル姉妹港提携 K岸壁一部供用開始
56 4	丰 1981 年	「ニュートラム」南港ポートタウン線開業 大阪/上海友好港提携 大阪フェリー埠頭公社を大阪港埠頭公社へ改組
57 4	年 1982 年	阪神外貿埠頭公団の業務廃止・大阪港埠頭公社へ業務継承
58 4	年 1983 年	大阪南港野鳥園オープン 天保山船客上屋開設 大阪/バルパライソ姉妹港提携
59 4	年 1984 年	世界一周航路(西回り・東回り)開設
60 4	年 1985 年	大阪南港環境整備公社を改組、大阪港開発技術協会設立 インテックス大阪オープン 大阪国際フェリーターミナル開設 大阪/上海外航フェリー就航 大阪/釜山姉妹港提携
62 ⁴	年 1987 年	天保山岸壁に外国客船(第1号)「コンスタンチン・チェルネンコ」号入港 大阪北港ヨットハーバーオープン

年号	西暦	記事
昭和 63	年 1988 年	「クイーンエリザベス2」号天保山岸壁に初入港
平成元	年 1989 年	阪神高速道路大阪港線全面開通 コスモスクエア開発協議会発足
2	年 1990 年	此花大橋開通 天保山ハーバービレッジ(海遊館・マーケットプレース)オープン
3	年 1991 年	南港C-7、大阪港コンテナ8号岸壁、北港白津岸壁(一部)供用開始 天保山大橋開通
4	年 1992 年	大阪港総合流通センター改行 南欧C-6岸壁供用開始
5	年 1993 年	大阪/上海外航フェリー「蘇州號」就航 大阪臨港4区が「輸入促進地域」 (FAZ)に指定 南港C-9岸壁供用開始
6	年 1994 年	阪神高速湾岸線全面開通 アジア太平洋トレードセンターオープン 大阪/上海外航フェリー「新鍳真」就航 舞洲スポーツアイランド一部供用開始 南港航空貨物ターミナルオープン 関西国際空港開港 新木津川大橋開通 大阪/サイゴン姉妹港提携
7 :	年 1995 年	阪神・淡路大震災発生なみはや大橋開通 大阪港コンテナ埠頭C1~5を4バース (C1~4) に再編 舞洲青果物センター供用開始 大阪ワールドトレードセンタービルディングオープン ふれあい港館オープン 舞洲アリーナオープン
8	年 1996 年	舞洲ベースボールスタジアムオープン 大阪港国際フェリーターミナル供用開始
9	年 1997 年	舞洲野外活動センターオープン 舞洲ヘリポート供用開始 大阪港築港100周年記念式典挙行 大阪港咲洲トンネル開通 南港/港区連絡線(OTSテクノポート線)開業
10	年 1998 年	舞洲陶芸館オープン 南港外貿雑貨センターQ-4号上屋供用開始 舞洲緑道全面オープン 舞洲「新夕陽丘」オープン
11 :	年 1999 年	常吉大橋開通 シーサイドコスモ (コスモスクエア海浜緑地) 一部オープン
12	年 2000 年	「なにわの海の時空館」オープン

年号	西暦	記事
平成 13 年	2001 年	ユニバーサル・スタジオ・ジャパンTMオープン 新島地区埋立事業起工
14 年	2002 年	大阪/釜山外航フェリー「パンスタードリーム」就航 コスモスクエア地区が「都市再生緊急整備地域」に指定 夢洲C-10岸壁、大阪港コンテナ埠頭第11号岸壁供用開始
15 年	2003 年	此花区・港区・住之江区が「国際交易特区」(構造改革特別区域)として認 定を受ける 千歳橋開通 咲洲キャナル供用開始
16 年	2004 年	大阪港が神戸港とともに阪神港として「スーパー中枢港湾」に指定
17 年	2005 年	「サファイア・プリンセス」 (当時の日本寄港の最大客船) 天保山岸壁に初 入港 大阪港及び神戸港が「指定特定重要港湾」に指定
19 年	2007 年	大阪湾諸港の一開港化
20 年	2008 年	大阪南港コスモフェリーターミナル供用開始 鶴浜岸壁供用開始
21 年	2009 年	夢咲トンネル開通 夢洲コンテナターミナル3バース運用開始 大阪沖埋立処分場受入開始
22 年	2010 年	大阪港及び神戸港が阪神港として「国際コンテナ戦略港湾」に選定 大阪港埠頭株式会社設立
23 年	2011 年	「特定外貿埠頭の管理運営に関する法律」に規定する指定会社として大阪港 埠頭株式会社の業務開始 阪神港地区が「関西イノベーション国際戦略総合特区」として指定
26 年	2014 年	大阪港、神戸港の両埠頭株式会社を上下分離方式により経営統合、「阪神国際港湾株式会社」として業務開始 阪神国際港湾(株)の港湾運営会社の指定
29 年	2017 年	大阪港開港150年記念式典挙行